

4. 本学卒業生の現職教員を対象としたアクティブ・ラーニングの授業実態調査

【本学卒業生の現職教員を対象としたアクティブ・ラーニングの授業実態調査の結果報告】

はじめに

本プロジェクトの最終年度にあたり、本学卒業生の現職教員に対してアクティブ・ラーニングに関するアンケートを行い、その集計結果をまとめた。

1. アンケート調査の概要

(1) 目的

第3期中期目標・中期計画における本学の重点目標は、本学の教育を通じてアクティブ・ラーニング（以下、AL）の学びを積んだ学生が、学校現場でAL授業を展開できるように養成することである。そこで本学を卒業した現職教員に対して、

- 本学で受講した講義・ゼミにはどの程度のAL授業があったのか
- 本学で受講した講義・ゼミが、どの程度教育現場に活用されているのか
- 教員としてのどの程度のALスキルがあるのか

を調査した。

(2) アンケート対象

愛知教育大学を卒業した愛知県内の現職教員（1042人）

(3) アンケート回収率

362人（回収率34.7%）から回答を得た。

(4) アンケート調査の方法

アンケート対象者に依頼文（次ページ参照）を郵送し、依頼文のQRコードからMicrosoft Formsにアクセスしてアンケートに回答する。

2. アンケート調査の依頼文

依頼文の QR コードについては削除しました。

本学卒業生の現職教員 各位

愛知教育大学教職キャリアセンター長

杉浦 慶一郎

本学卒業生の現職教員を対象としたアクティブ・ラーニングの授業実態調査について（お願い）

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は本学の活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます

さて、本学では、「実践力を身につけ、現代的課題に対応した高度な教員の養成」を目的に、平成28年度から『「主体的・協働的な学び」を実践できる教員の養成 ―アクティブ・ラーニングを導入した新たな学習指導方法の開発―』プロジェクトに取り組んでいます。

この度、当プロジェクトでは、本学卒業・修了生の現職教員に対して、教育現場において、本学で身につけたALスキルがどの程度活用されているかを検証するため、実態調査をすることとなりました。ご回答いただきました内容につきましては、今後のアクティブ・ラーニングの教育活動の質向上に役立ててまいりますので、ご理解・ご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

敬具

記

【調査主体】 本学教職キャリアセンター・アクティブラーニングプロジェクト

【調査対象者】 平成30年度から令和2年度までの本学卒業・修了生で愛知県内に勤務する常勤の現職教員

【回答期限】 令和3年10月29日（金）

【回答方法】

1. 下記QRコードを読み取り（またはURLを入力）していただき、Microsoft Forms にアクセスしてください。
2. 調査にご回答いただき、最後に送信ボタンをクリックしてください。

3. アンケート調査の文頭

アンケート調査の冒頭部分を以下に示す。

本調査は本学卒業生の現職教員に対して、実際の教育現場で実践しているアクティブ・ラーニング（以下、AL）の授業についてアンケートを実施するものです。本学での教育が、ALの授業実践でどの程度活用されているのかを追跡調査することを目的としています。

なお、本調査の結果を、本学ALプロジェクトの報告書やインターネット等で公表することはありますが、すべて統計的に処理しますので、個人の回答が特定されてほかの人に知られることは絶対にありません。

つきましては、以下に記載の「本学が4つの視点から目指すアクティブ・ラーニング」により、本学のALの定義をご確認の上、下記アンケートにご協力をお願いいたします。

（回答の所要時間は15分程度です。）

【本学が4つの視点から目指すアクティブ・ラーニング】

<主体的な学びの視点>

授業内容等から学修者自らが課題を発見し、その課題の解決に向けて、問題解決型学習、体験学習、調査学習等を行うことで、認知的、倫理的、社会的能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力が育成されている。

<対話的な学びの視点>

学修課題及び修得した教養、収集したデータ、体験等について、グループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等を行うことで、より個人の学びが深まっている。

<深い学びの視点>

単に断片的な知識や技能等を修得するのではなく、主体的及び対話的な学びの過程で、学修者の思考が活性化されることで、知識や技能等の関連が図られ、新たな概念化することができている。

<教員及び教育を支援する専門職の養成としての視点>

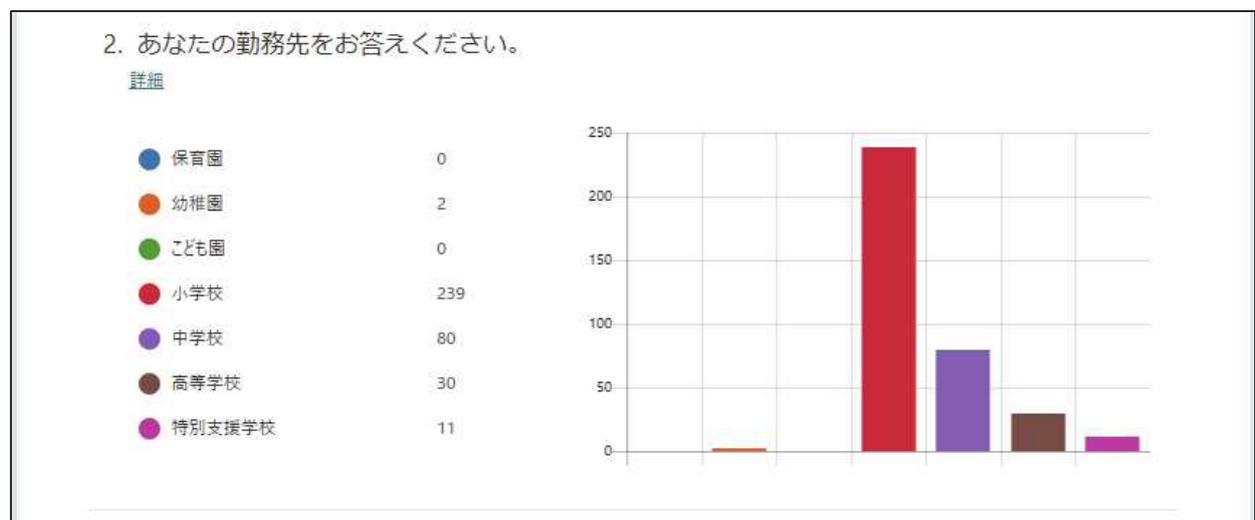
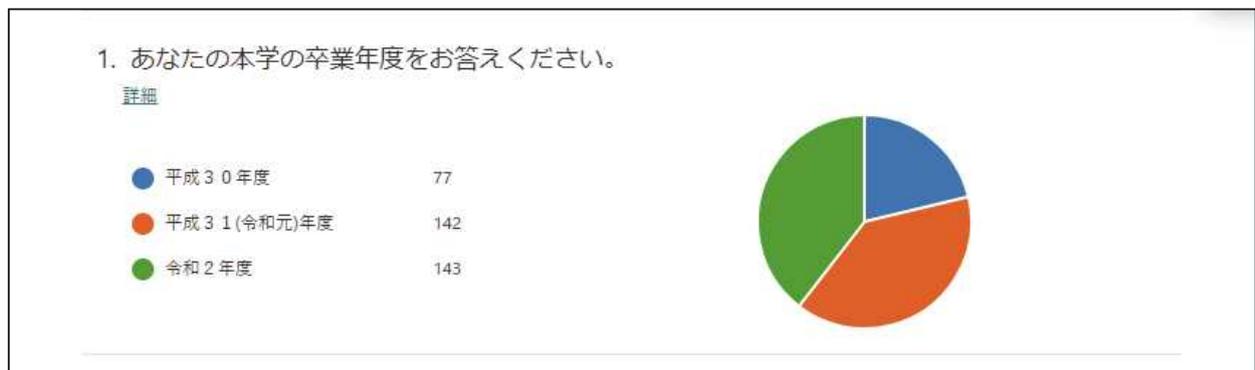
学修者がALの価値を実感することで、教員及び教育支援専門職に就いたときに、自らに児童・生徒に主体的で対話的な深い学びを実践できるようになっている。

4. アンケート結果

質問の8と9については、以下のように自由記述なので、5の方に記載した。

(質問8) 問7について、覚えている範囲内で参考になった本学での講義・ゼミの内容について教えてください。(自由記述)

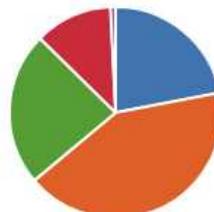
(質問9) 問8について、具体的にどのようにALに活用されているのか教えてください。(自由記述)



4. どのような形態の授業において、A Lを取り入れているかをお答えください。
(複数回答可)

詳細

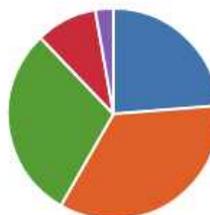
● 生徒、児童、幼児参加型授業...	143
● 生徒、児童、幼児の共同授業...	273
● 教員や生徒、児童、幼児が問...	153
● 野外実習、体験実習、調査学...	77
● その他（自由記述） ※次の問...	5



6. あなたが本学で受講した授業全体で、A Lの授業は何割程度でしたか。記憶している範囲内でお答えください。

詳細

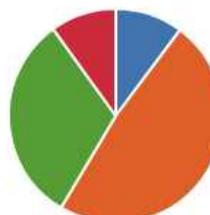
● 0～20%	86
● 20～40%	125
● 40～60%	107
● 60～80%	34
● 80%以上	10



7. A Lの授業方法や授業計画を考える上で、本学で受講した講義・ゼミが参考になっていることはありますか？

詳細

● 大いに参考になっている	37
● 多少参考になっている	175
● あまり参考になっていない	114
● 全然参考になっていない	36

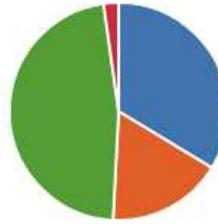


10. 授業において解決に対話が必要な課題や問いを設定できる

詳細

Insights

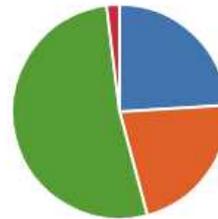
- 具体的な手立てが思いつき、実... 122
- 具体的な手立てが思いつくが、実... 62
- 具体的な手立てが思いつかないが... 170
- 具体的な手立てが思いつかないし... 8



11. 次の主体的な学びにつながるような課題や問いを設定できる

詳細

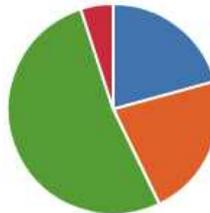
- 具体的な手立てが思いつき、実... 87
- 具体的な手立てが思いつくが、実... 79
- 具体的な手立てが思いつかないが... 189
- 具体的な手立てが思いつかないし... 7



12. アクティブ・ラーニング(AL)とは何かを説明できる、暗記再生と意味理解の違いを説明できる、などALがなぜ必要なのかを説明できる

詳細

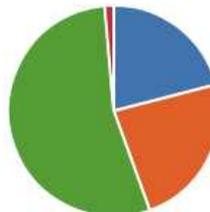
- 具体的な手立てが思いつき、実... 75
- 具体的な手立てが思いつくが、実... 80
- 具体的な手立てが思いつかないが... 189
- 具体的な手立てが思いつかないし... 18



13. 授業において、学んだことを実社会や実生活まで広げて考える活動を取り入れることができる

詳細

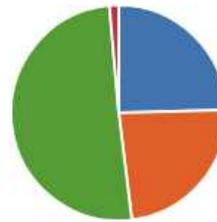
- 具体的な手立てが思いつき、実... 76
- 具体的な手立てが思いつくが、実... 85
- 具体的な手立てが思いつかないが... 196
- 具体的な手立てが思いつかないし... 5



14. 複数の視点や立場から考えるための教材を準備できる

詳細

- 具体的な手立てが思いつき、実... 89
- 具体的な手立てが思いつくが、実... 85
- 具体的な手立てが思いつかないが... 183
- 具体的な手立てが思いつかないし... 5

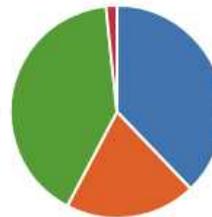


15. 授業において授業のねらいに絞った課題や問いが設定できる

詳細

💡 Insights

- 具体的な手立てが思いつき、実... 137
- 具体的な手立てが思いつくが、実... 72
- 具体的な手立てが思いつかないが... 147
- 具体的な手立てが思いつかないし... 6

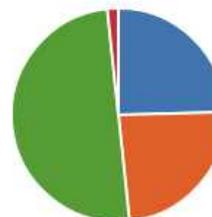


16. 授業において、解決策や答えを深めていくような授業計画や単元計画が立てられる

詳細

💡 Insights

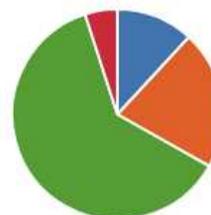
- 具体的な手立てが思いつき、実... 89
- 具体的な手立てが思いつくが、実... 86
- 具体的な手立てが思いつかないが... 181
- 具体的な手立てが思いつかないし... 6



17. 協同学習とグループ学習の違いを説明する、協同学習をうまく行うためにはどのようにしたら良いかを具体的に説明する、など協同学習を成立させる工夫を説明できる

詳細

- 具体的な手立てが思いつき、実... 43
- 具体的な手立てが思いつくが、実... 77
- 具体的な手立てが思いつかないが... 224
- 具体的な手立てが思いつかないし... 18

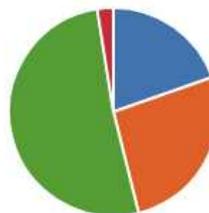


18. 協同学習において、メンバーをまとめる、役割や仕事を割り振る、意見をまとめる、議論を進行するなど、リーダーの役割を担う態度を育成できる

詳細

💡 Insights

- 具体的な手立てが思いつき、実... 71
- 具体的な手立てが思いつくが、実... 96
- 具体的な手立てが思いつかないが... 186
- 具体的な手立てが思いつかないし... 9

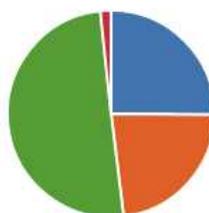


19. 他者の意見を聞いて、話の内容を的確に把握する、疑問点を持つなどの聴く力を育成できる

詳細

💡 Insights

- 具体的な手立てが思いつき、実... 91
- 具体的な手立てが思いつくが、実... 83
- 具体的な手立てが思いつかないが... 182
- 具体的な手立てが思いつかないし... 6

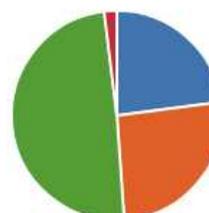


20. 他者の意見を聞いて、自分の意見を振り返る、新しい見方・考え方に気付く、自分の意見を修正する、自分の意見と融合してより良いものにする、など、自分自身を見つめ直したり、自分の意見を深めたりする力を育成できる

詳細

💡 Insights

- 具体的な手立てが思いつき、実... 83
- 具体的な手立てが思いつくが、実... 94
- 具体的な手立てが思いつかないが... 178
- 具体的な手立てが思いつかないし... 7

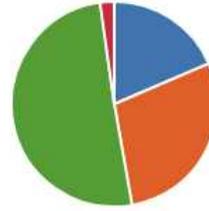


21. 必要な情報を集める、ある見方で並べる、仕分ける、順位付けする、自分なりに分析した結果を説明できる力を育成できる

詳細

Insights

- 具体的な手立てが思いつき、実... 67
- 具体的な手立てが思いつくが、実... 104
- 具体的な手立てが思いつかないが... 183
- 具体的な手立てが思いつかないし... 8

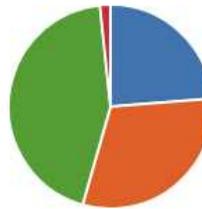


22. 相手や目的にあうようにわかりやすくまとめる・伝える力を育成できる

詳細

Insights

- 具体的な手立てが思いつき、実... 86
- 具体的な手立てが思いつくが、実... 111
- 具体的な手立てが思いつかないが... 159
- 具体的な手立てが思いつかないし... 6

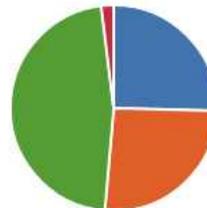


23. 協同学習において、自ら積極的に発言する、役割を遂行する、やりやすい雰囲気を作る、メンバーと協力するなど、積極的に活動に参加する態度を育成できる

詳細

Insights

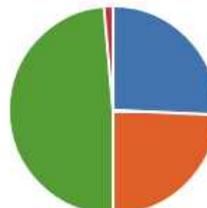
- 具体的な手立てが思いつき、実... 92
- 具体的な手立てが思いつくが、実... 94
- 具体的な手立てが思いつかないが... 169
- 具体的な手立てが思いつかないし... 7



24. 自分の意見に対する相手からの指摘、自分と異なる意見など、他者の意見を受け止める力を育成できる

詳細

- 具体的な手立てが思いつき、実... 93
- 具体的な手立てが思いつくが、実... 88
- 具体的な手立てが思いつかないが... 176
- 具体的な手立てが思いつかないし... 5

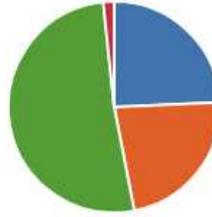


25. 自分の意見を、積極的に、感情的にならず冷静に、自信をもって、相手を傷つけないように
など、発言できる力を育成できる

詳細

Insights

- 具体的な手立てが思いつき、実... 88
- 具体的な手立てが思いつくが、実... 82
- 具体的な手立てが思いつかないが... 186
- 具体的な手立てが思いつかないし... 6

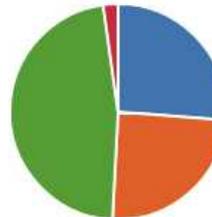


26. 自分の学び方を振り返り、自分の学び方を評価したり改善したりする力を育成できる

詳細

Insights

- 具体的な手立てが思いつき、実... 95
- 具体的な手立てが思いつくが、実... 89
- 具体的な手立てが思いつかないが... 170
- 具体的な手立てが思いつかないし... 8

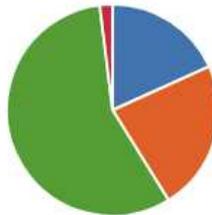


27. 他者や自分の意見に対して、主観的・客観的意見の区別ができる、比較して共通点・相違点
を見つけてることができる、など論理的に意見を分類する力を育成できる

詳細

Insights

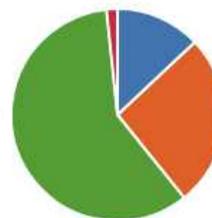
- 具体的な手立てが思いつき、実... 66
- 具体的な手立てが思いつくが、実... 83
- 具体的な手立てが思いつかないが... 206
- 具体的な手立てが思いつかないし... 7



28. 評価基準にそって、他者や自己の学びを適切に評価する力を育成できる
・具体的な手立てが思いつき、実行できる

詳細

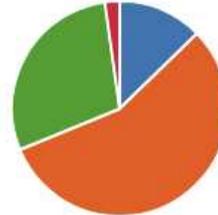
- 具体的な手立てが思いつき、実... 47
- 具体的な手立てが思いつくが、実... 95
- 具体的な手立てが思いつかないが... 214
- 具体的な手立てが思いつかないし... 6



29. 協同学習において、メンバーをまとめる、役割や仕事を割り振る、意見をまとめる、議論を進行するなど、リーダーの役割を担う態度が身についている

詳細

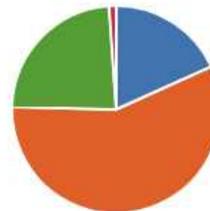
● 十分身についている	46
● ある程度身についている	203
● あまり身についていない	105
● 身についていない	8



30. 他者の意見を聞いて、話の内容を的確に把握する、疑問点を持つなどの聴く力が身についている

詳細

● 十分身についている	66
● ある程度身についている	207
● あまり身についていない	85
● 身についていない	4

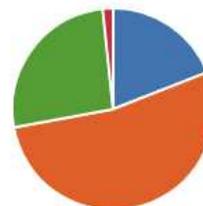


31. 他者の意見を聞いて、自分の意見を振り返る、新しい見方・考え方に気付く、自分の意見を修正する、自分の意見と融合してより良いものにする、など、自分自身を見つめ直したり、自分の意見を深めたりする力が身についている

詳細

💡 Insights

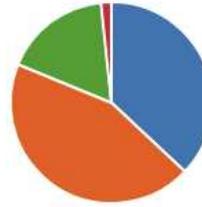
● 十分身についている	69
● ある程度身についている	192
● あまり身についていない	95
● 身についていない	6



32. 相手の意見を耳を傾けて、真摯に聞いている姿勢を示したり、あいづちなどの聞いていることがわかる姿勢を具体的に示す、などの態度が身についている

詳細

● 十分身についている	134
● ある程度身についている	160
● あまり身についていない	62
● 身についていない	6

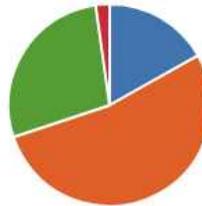


33. 必要な情報を集める、ある見方で並べる、仕分ける、順位付けする、自分なりに分析した結果を説明できる力が身についている

詳細

💡 Insights

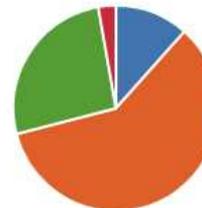
● 十分身についている	61
● ある程度身についている	192
● あまり身についていない	101
● 身についていない	8



34. 相手や目的にあうようにわかりやすくまとめる・伝える力が身についている

詳細

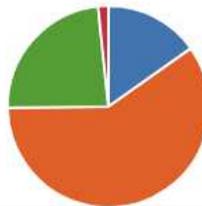
● 十分身についている	42
● ある程度身についている	215
● あまり身についていない	95
● 身についていない	10



35. 協同学習において、自ら積極的に発言する、役割を遂行する、やりやすい雰囲気を作る、メンバーと協力するなど、積極的に活動に参加する態度が身についている

詳細

● 十分身についている	55
● ある程度身についている	216
● あまり身についていない	85
● 身についていない	6

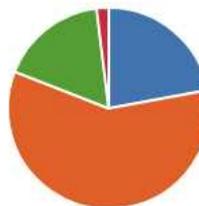


36. 自分の意見に対する相手からの指摘、自分と異なる意見など、他者の意見を受け止める力が身についている

詳細

Insights

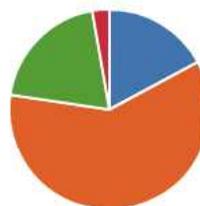
十分身についている	80
ある程度身についている	213
あまり身についていない	62
身についていない	7



37. 自分の意見を、積極的に、感情的にならず冷静に、自信をもって、相手を傷つけないようになど、発言できる力が身についている

詳細

十分身についている	62
ある程度身についている	218
あまり身についていない	72
身についていない	10

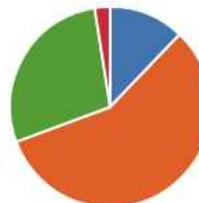


38. 自分の学び方を振り返り、自分の学び方を評価したり改善したりする力が身についている

詳細

Insights

十分身についている	44
ある程度身についている	207
あまり身についていない	102
身についていない	9

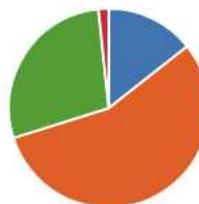


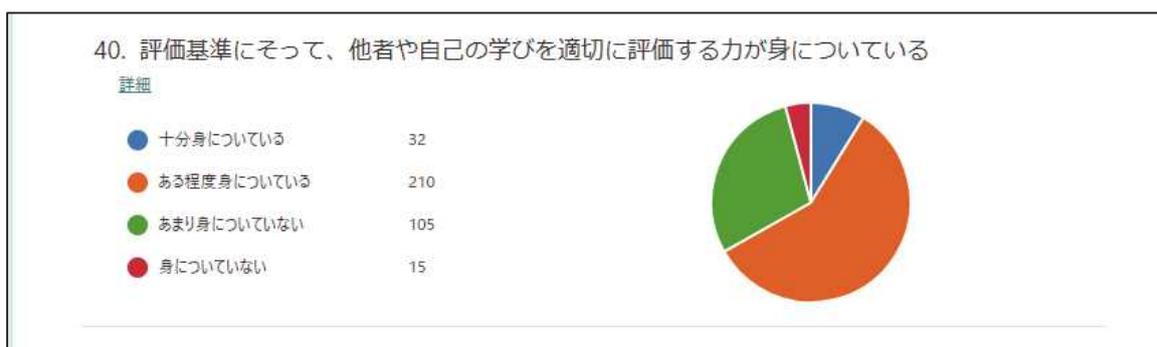
39. 他者や自分の意見に対して、主観的・客観的意見の区別ができる、比較して共通点・相違点を見つけることができる、など論理的に意見を分類する力が身についている

詳細

Insights

十分身についている	52
ある程度身についている	202
あまり身についていない	102
身についていない	6





5. 質問8と9の自由記述の内容

(質問8) 問7について、覚えている範囲内で参考になった本学での講義・ゼミの内容について教えてください。

- ・社会学の講義では、そもそもアクティブラーニングが何かを考えさせられた。机を動かして子どもが話し合うだけでは、アクティブラーニングとは言えないとわかった。大学院の生活科教育講座の授業はどれも子どもが学習問題を考え、追究する授業について学ぶよい機会となった。追究する子どもの具体的な姿を授業記録から読み取ったり、子どもが追究するするために教師がどのように支援すればよいかを学ぶことができた。
- ・アドバンスサイエンスコース地学での授業、物理数学でのパフォーマンス課題を現状参考としています。今後、物理学実験で学んだことを活かしたいと考えてます。
- ・視覚障害者教育の講義で、学生グループで模擬授業をし、深い学びをさせていただきました。
- ・理科教育講座が問題発見・解決学習を行っており、また体験実習であったため、非常に参考になりました。
- ・プレゼンの企画を行った際の、まとめる力伝える力は子どもたちを育む手立ての一つとして活用させていただいています。
- ・理科教育CⅢの協働学習については、参考になりました。
- ・美術教育の講義での学生が模擬授業をして意見交換をしたことや、小学校などの授業の映像資料 デザイン教育の講義で、〇〇を作ろうではなく、どうやって作るのか、なぜそれを作るのかを生徒に考えさせることの大切さを学んだ。生徒が自ら考えて作ったと感じさせ、達成感を感じてもらえるようにすること。愛教大をテーマにだれをターゲットするかなどを考えて、宣伝する方法をグループで考え、発表して図解でまとめたこと。ポートフォリオを活用すること。
- ・理科教育学の講義や修士論文研究のゼミの中で、自分自身で調べたり、それをもとに発表したり、グループで話し合って発表したりする形式がほとんどであった。自ら調べたくなる問いを提示され、それについて同じ講義を受講する学生同士で話し合ったりしていた。
- ・パフォーマンス評価の講義、ディープアクティブラーニングの授業、理科教育理論に関する授業、教材紹介
- ・逆向き設計について何度か講義を聞いたり、実際に単元計画したりした内容は大変参考になった。今もその考えで単元全体を、見通し、計画している。ゼミで行った自分の実践や他の先生の実践事例を事

例研究した経験は、今も習慣として根付いている。

- ・社会専攻でしたが、社会科研究や社会科教育は参考になりました。教材研究や準備など。また、4年次の教職大学院の授業もためになりました。
- ・キャリア教育についての講義で取り扱われた ESD やキャリア教育はとても役に立っていると感じる。

(質問9) 問8について、具体的にどのようにALに活用されているのか教えてください。

- ・子どもたちが、テーマに沿った内容をタブレットを用いてまとめ、発表する活動
- ・コロナ禍で思うようには実施できませんが、活用できそうなものを部分的に行っています。授業始めの帯活動の活用だったので、それを参考にして、本活動でも年間を通して意識するようにはしています。
- ・コロナ禍による環境の変化や生徒の基礎学力などを鑑みると、1人の教員が40人に対してALを行うことは限界があり、ALを進めていくためにも、教員の働き方が見直されるべきだと痛感している。
- ・子どもがまず運動に興味や関心をもてるように、教材の面白さに浸らせ、ゲームの中から課題を自分たちで見つけていくように単元構想を練っている。
- ・子どもの発言を中心に授業を構成することで、自ら課題追究する授業。また、思考ツールを活用したグループワークをホワイトボードやタブレットで行っている。
- ・授業のどの場面で、どのようにALを取り入れればいいのかの参考にしている。具体的には、中学1年生（知的に障害はない課程）の理科の授業について記述する。授業の前半で習った動物の分類をする観点を用いて、カメとペンギンが何類かを考えた。その後、生徒の持参するタブレットを用いてカメとペンギンが何類か調べる活動を行った。
- ・復習→本時の流れ、これまでとのちがいがい→めあての設定の流れ。授業の冒頭で、系統性を意識した授業を意識しています。